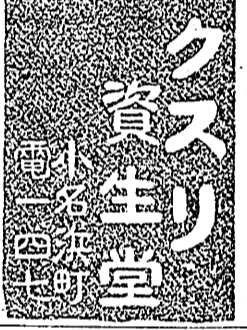




夕刊
日三十月八
発行所 伊藤隆次
印刷所 常磐新聞社
日刊 日曜日休
一週二角 一月五元
廣告料 一行 五十銭



夕刊
日三十月八
発行所 伊藤隆次
印刷所 常磐新聞社
日刊 日曜日休
一週二角 一月五元
廣告料 一行 五十銭

架空の人物までデッチ上げ 他人の山を種に大金を詐取

二味三名格闘の上平署に檢舉

三千圓もしやうといふ他人去る八日夜平町茶料亭で誘捕されたの山林を種にまんまと五百名者数金上げ蒙遊しながら余圓をせしめた詐欺漢が一現金の山分けしてゐる所を味二名と共に平署に檢舉さ女將や藝妓が不審に思ひ平署に密告され、安積郡赤津村大枝署に密告するところを察し、明許嶽嶺前科五犯眞船三名はハイヤーを騙つて道(堂)は去る二十日茨城縣逸早く逃走したが、菊地部長関本村長遊佐吉さん外一刑部等に追ひつめられ内郷名所有山林の杉立木約五百村堀坂地内で格闘の上逮捕(時價三千圓)に目をつけ、俺は関本村の伊藤信義といふ者で弟の一が田地を買ふのに金が入用だからと湯本町材木商大平喜代治さんに誠しやかに持ちかけ知り合ひの内郷村大字七反田横田初美(三)を弟伊藤一に仕立て更に関本村大字活羅中の齋崎村(齋崎村小房市(七))と語つて伯父伊藤中藤男君は去月十二日午前金次郎といふ架空の人物を八時三十分頃名譽の戦死をデッチ上げ大平喜代治さんとけた旨「悲憤の涙を拂ひを大津町料亭高砂家に連れ、御一報中上候」と冒頭込み買収契約をして常陽銀した今泉隊長の手紙で家族行湯本支店から常座小切手に知らされた

一兒の死を秘めて 夫の武勳を念願

戦死した田中伍長の妻女

〇〇部隊に属し中支方面に一に仕立て更に関本村大字活羅中の齋崎村(齋崎村小房市(七))と語つて伯父伊藤中藤男君は去月十二日午前金次郎といふ架空の人物を八時三十分頃名譽の戦死をデッチ上げ大平喜代治さんとけた旨「悲憤の涙を拂ひを大津町料亭高砂家に連れ、御一報中上候」と冒頭込み買収契約をして常陽銀した今泉隊長の手紙で家族行湯本支店から常座小切手に知らされた

江名青年團 集總會

中野中佐講演
江名青年團集總會は昨十

女子青年團 集總會

一日正午より永崎分校に開催講師中野正太郎中佐が時局問題に關する有益なる講演があり若人の血をわかし

中堅農民特殊講習會

郡農會では来る二十四日から四日間に西白河郡立失吹原野練場中堅農民六十二名(内女子十一名)の特殊講習會を開催する、指導者は柴田、内田両技手で受講者は白米二升の外に會費三圓五十銭

圖太い只飲み

四倉町漁夫鈴木勇次(三)は十二月夜無一文のくせに平戦地の夫には二兒の死を秘めてをり健氣な軍人の妻として賞讃されてゐる

最高價格決定

本縣独自の立場から燃料費並に交通費の標準を決定すべく本縣物價兩專門委員會より十二月十一日午後一時から縣農會樓上において開催されたがねん料專門委員會で決定された木炭並に石炭の最高標準小賣價格は左の如し

- ▲木炭(黒炭)十五斤入 桶九十一、五〇
- ▲同 一等、四四
- ▲同 二等、四〇
- ▲同 三等、三三
- ▲同 四等、二〇
- ▲同 五等、一〇
- ▲松一等(十二斤入) 一一、一五
- ▲同 二等(同) 一〇
- ▲白炭(略)
- ▲石炭

▲家庭用塊炭小賣常賣炭、古河新坑、小野田、住吉長倉、町田各塊炭共五十五キロ一噸配運付一圓五十に飲食費を節約して代表中田ラッ名儀で二十圓

愛國機納納費

好問村上組青年團ではチャ江名分枝下神白通學團女子ンガラ念佛で得た五圓を國代表還藤フク、永瀬ミナサ防費に平署へ寄託

日立式モートル

福島縣下特約店
平市五丁目
専用電話 六三一番
振替口座 〇九五番

北川外科

平市新川町(電話四六四番)
診療晝夜
入院隨時
醫學博士 北川芳夫
技師 三浦常保

内臓外科 レントゲン科
肛門病科 皮膚病科
花柳病科 泌尿器科

女子青年團 集總會

中野中佐講演
江名青年團集總會は昨十

女子青年團 集總會

中野中佐講演
江名青年團集總會は昨十

女子青年團 集總會

中野中佐講演
江名青年團集總會は昨十

